



学認対応IdPホスティングサービスの実現に向けて

AXIES 2022 認証基盤部会 2022年12月13日
国立情報学研究所 清水 さや子

学認(学術認証フェデレーション)とは

- 所属機関が発行するアカウントを用いて、学外の情報リソースにアクセスするための認証連携のフレームワーク

SP
(Service Provider)

電子ジャーナル(CiNiiなど)、eduroam認証連携IDサービス
E-Learning(学認LMSなど)、研究データ基盤(GakuNin RDM) など

一組のIDとPWで
多くのサービス
が利用可能に☆

GakuNin運営組織

- ポリシー策定
- IdP運用評価
- 広報・普及

ディスカバリーサービス

メタデータリポジトリ

学認申請システム

情報提供サイト

IdP

(Identity Provider)

機関ごとに構築、
運用が必要

大学

教員

自宅や出張先などから
自由で安心なアクセス

大学

学生

シングルサインオンで
スムーズなアクセス

学会

学会員

シボレスとPKIを利用したフェデレーション

- ID管理工数の低減
- セキュアで個人情報を保護した安心・安全なアクセス管理

これが結構
大変なのよね



学認の参加状況

▶ 現在、学認の参加機関は、277機関(2022.12.1時点)

▶ 未参加機関の理由:

A) 人力的な問題(運用する人材、参加検討する人材の不足)(58件)

B) 技術的な問題(サーバの構築や運用ができないなど)(23件)

C) 金銭的な問題(20件)

D) 必要かどうかわからない(11件)

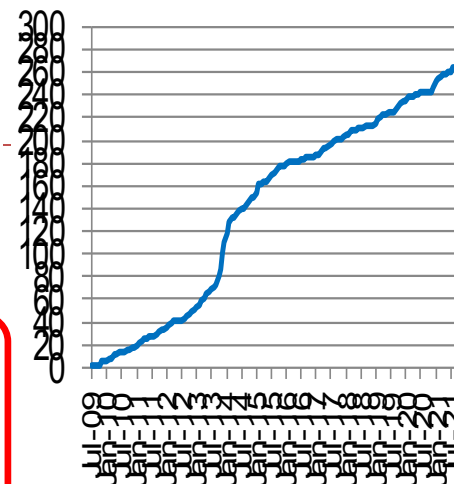
E) 委託業者が分からない(9件)

F) 現在は不要である(5件) などなど

⇒IdPサーバの構築、運用がネックになっている場合が多い

(件数は、2022年10月のアンケート結果(複数回答可)、対象72機関より)
アンケートにご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました

IdP設置機関数



▶ 次世代学認では、全ての人が認証できるようにしたい、認証レベルを上げたい

▶ もっと多くの機関に学認参加していただきたい

 NIIでは、学認対応のIdPホスティングサービスを検討中

学認対応IdPホスティングサービスとは

- ▶ **IdPサーバの構築、運用が困難な機関に対して、
NIIがIdPサーバを構築して貸出すサービス** として定義

24時間365日監視、随時セキュリティパッチ更新、ハード/ソフトウェアのバージョンアップ対応、FIDO2の対応、各種支援を想定

- ▶ 単にIdPサーバを貸出すだけでは、運用担当者の悩みは一部しか解決しないのでは？
- ▶ 運用担当者様がお困りであろう、各種支援も必要では？
 - ✓ 学認への参加サポート
 - ✓ 初期利用登録サポート
 - ✓ SP連携サポート
 - ✓ 学認参加IdP運用状況調査の一部回答サポート などなど

(学認実施要領および学認技術運用基準への準拠性監査、年に一度開催)

学認対応IdPホスティングサービスの実現に向けて

- ▶ 前段階として、

学認対応IdPホスティングサービス実証実験

します！

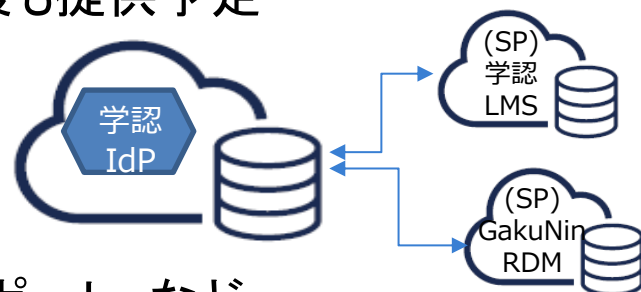
- ▶ 実証実験の目的：
 - 学認対応IdPのホスティングサービス利用による利便性確認
 - サービスの安定稼働確認
- などなど

「学認対応IdPホスティングサービス実証実験」
協力いただける機関を募集予定☆
(詳細内容を公開予定)

学認対応IdPホスティングサービス実証実験の内容を 一部ご紹介

- ▶ 学認対応のIdPサーバをクラウドサービス(IDaaS)として提供予定
- ▶ 利用開始は、2023年4月(早ければ2022年3月)ごろを予定
- ▶ 利用期間は、約1年間を予定
- ▶ 単なるIDaaSとして提供するだけでなく、各種支援も提供予定

- ✓ 学認への参加サポート
- ✓ 初期利用登録サポート
- ✓ SP連携サポート
- ✓ 学認参加IdP運用状況調査の一部回答サポート など



- ▶ 募集機関数は、10機関ほどを想定(ヒアリングなどにご協力いただける機関)
 - ✓ 学認への参加を検討いただける機関を対象とする予定
 - ✓ 既学認参加機関でもIDaaSへの移行を検討されている機関は対象とする予定

学認対応IdPホスティングサービスにより想定される運用担当者の軽減作業

作業負荷

大

>

小

	作業項目	自前構築	学認対応IdPホスティング
A	アカウント登録	大学で実施	大学で実施 (初回は支援有)
B	学認対応IdP 構築	大学で実施	IDaaS 契約
C	学認対応IdP 設定	大学で実施	大学で実施 (支援有)
D	アカウント情報メンテ※	大学で実施	大学で実施
E	メタデータ登録	大学で実施	大学で実施 (支援有)
F	SP接続	大学で実施	大学で実施 (支援有)
G	学認対応IdP 運用管理	大学で実施	IDaaS で実施

- ▶ ※ アカウント情報の管理は、どうしても機関側で行うことが必要
(統合認証基盤が整備されていない機関の方は、管理方法の検討が必要)

学認対応IdPホスティングサービスの目指すところ

① IdPサーバの構築が不要で、コスト削減に☆

- ハード、ソフトウェアの購入(資産としての計上)資産計上が不要に

② 運用コストの削減に☆

- IDaaS(認証基盤のSaaS)として24/365サービス監視、脆弱性対応
- ソフトウェアのバージョンアップから解放

③ 高度な専門知識がなくても利用可能に☆

- FIDO2などの高度認証の対応から解放
- 初期設定、SP連携などの各種サポートにより、専門知識習得が不要に

④ 全体的な認証のレベルアップに☆

学認対応ホスティングサービスに関するお問い合わせ

- ▶ もうまもなく、実証実験に関する詳細を公開予定
- ▶ 詳細公開後、ご興味持って下さった機関の方は、ご連絡いただけますと幸いです

[gakunin-office @ nii.ac.jp](mailto:gakunin-office@nii.ac.jp) (@マーク前後のスペースは省いてください)

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術基盤課

統括・連携基盤チーム(認証担当)

件名:学認対応IdPホスティングサービスについて

【おまけ】

学認では、一緒に研究開発や技術支援をしてくれる方を随時、募集しております
ご興味持っていただける方は、上記までご連絡いただけますと幸いです

